

10. 文章の推敲

➤主語に対応する述語がない。

【原文 1】私は、この点を考えるとジェームズ氏の提出したモデルは現象を単純化しすぎている。少なくとも高濃度領域では理論と実験が食い違ってくるのは当然である。

【修正 1】私は、この点を考えるとジェームズ氏の提出したモデルは現象を単純化しすぎていると思う。少なくとも高濃度領域では理論と実験が食い違ってくるのは当然である。

【原文 2】ここで問題となるのは、前に述べたように、端子容量とケーブル容量が大きすぎると発振が停止したり、不安定になったりする。

【修正 2】ここで問題となるのは、前に述べたように、端子容量とケーブル容量が大きすぎると発振が停止したり、不安定になったりすることである。

➤主語と述語が対応していない。

【原文 3】安全な歩き方の指導は、歩道・路側帯などの歩車分離がある時の歩き方と、歩車分離がない時の歩き方との二通りの指導がある。

【修正 3】安全な歩き方の指導は、歩道・路側帯などの歩車分離がある時の歩き方場合と、歩車分離がない時の歩き方との場合に分けて行う必要二通りの指導がある。

【清書 3】安全な歩き方の指導は、歩道・路側帯などの歩車分離がある場合と、歩車分離がない場合に分けて行う必要がある。

➤書き手は分かっているため説明不足となり、結局、読み手には理解できない文。拙速な文。

【原文 4】アルミニウム製鍊は電力多消費の代表のようなものなので、別項にのべるように電力単価の切下げ、別の新製鍊法の開発努力もしているが、電力の安価な地域へ出かけて製鍊することが計画されている。

【修正 4】アルミニウム製鍊は電力多消費の代表のようなものなので、別項にのべるように電力単価を切下げたり、別の新製鍊法の開発努力をして電力消費を減らそうともしている。が他方、電力の安価な地域へ出かけて製鍊することも計画されている。

【清書 4】アルミニウム製鍊は電力多消費の代表のようなものなので、別項にのべるように電力単価を切下げたり、別の新製鍊法の開発努力をして電力消費を減らそうとしている。が他方、電力の安価な地域へ出かけて製鍊することも計画されている。

学生番号		名 前	
------	--	-----	--

【問題】以下の文章を推敲して下さい。

いくら理想の道路を造ろうと、起終点は人々の居住生活圏の中にある以上は、そして現実に日本の道路幹線道路といえども居住地域のコミュニティ内を通らざるを得ない以上、居住生活圏では、自動車の走行速度は、スピードに適応能力のない人々の住む地域なるがゆえに、それが危機感を与えるにはいられない。進行方向はいくら見通しがよく、道路幅員がいくら広く、設計速度がいかに高くとも、横断の交差交通を排除できず、交差点間隔が短く、歩行者・自転車利用者がいる以上は、皮肉にもこれが、立派な道路ほど死亡重大事故の潜在危険性の高い道路となる。

いくら理想の道路を造ろうと、の起点と終点は人々の居住生活圏の中にある。以上は、そ
して現実に国土の狭い日本の道路では幹線道路といえどもが居住地域のコミュニティ内生
活圏を通らざるを得ない。以上、居住生活圏では、を自動車が高速で走れば、の走行速度
は、スピードに適応能力のできない人々の住む地域なるがゆえに、それが危機感を与える
にはいられないは危険を感じる。居住生活圏では、進行方向は道路のいくら見通しがよく、
道路幅員がいくら広く、設計速度がいかに高くとも、横断の交差交通を排除できずする
道路があれば、立体交差にしない限り交差点間隔が短く、歩行者や自転車利用者が道路
路を横断する以上は、皮肉にもこれがことになる。そのため、居住生活圏に立派な道路ほ
どを造れば、死亡重大事故の起こる潜在危険的可能性のは高道路となるくなってしまう。
【清書】道路の起点と終点は人々の居住生活圏の中にある。そして国土の狭い日本では幹
線道路が居住生活圏を通らざるを得ない。居住生活圏を自動車が高速で走れば、スピード
に適応できない人々は危険を感じる。居住生活圏では、道路の見通しがよく、幅が広く、
設計速度が高くても、交差する道路があれば、立体交差にしない限り、歩行者や自転車利
用者が道路を横断することになる。そのため、居住生活圏に立派な道路を造れば、死亡重
大事故の起こる潜在的 possibility は高くなってしまう。